堺市立の高齢者福祉施設のあり方に関する懇話会開催にかかる経過について

- 1 市立八田荘老人ホーム(養護老人ホーム)における経過
- ①平成23年度 指定管理者評価委員会での意見

「市として維持していく必要性等を含め、管理運営のあり方を十分に検討する必要がある。」

- ②平成24年度 包括外部監査における意見
- 「堺市にとって、このまま八田荘老人ホームを保有し運営するのと民間施設に入所させるのとでは、どちらが望ましいのか検討する必要がある。」
- ③平成29年度 (仮称)第3期行財政改革プログラム策定に向けた取組事業の検討

先進事例を踏まえ、民間活力の活用による行財政改革の取組み可能な事業として、八田荘老人ホームの運営のあり方の見直しについて、庁内的に検討開始

- 2 市立老人福祉センター(市内7施設)における経過
- ④平成22年度及び平成23年度「みんなの審査会」での意見

平成23年度審査会では、入浴事業に特化して取り上げられ、受益者負担も必要ではないかとの意見が多くみられ、また、将来的な施設の更新時期にあわせて、 浴場設置の是非を再度検討すべきではないかとの意見もあった。

- ⑤平成25年度「堺市老人福祉センターのあり方懇話会」を開催
 - 受益者負担のあり方等の課題について、有識者や市民等から意見を聴取し検討
- ⑥その後の状況

平成26年度に見直し内容について決定予定であったが、老人福祉センターの機能に関連する他部署の事業と調整する必要が生じ、検討が一時中断していたが、 平成29年度より検討を再開

